

2011年度 スローガン

For The Team

～ 働く喜びと豊かな生活～

方針策定にあたり

— 昨年リーマンショック以降、日本経済は政府の景気刺激策の効果により、少しずつ景気が回復し、最悪期は脱したとされています。しかし、直面する株安や円高、個人消費の低迷から判断しても、予断を許さない状況が続いています。日本の人口構造から見ても、これまでの成長経済を望むことはできず、今までに経験したことのない縮小経済が待ち受けているとも言われています。

私たちを取り巻く環境も同様です。会社の業績や財務状況は少しずつ回復基調にあります。自動車の内燃機関の転換や若年層の車離れに鑑みても、見通しが明るいとは言えない状況にあります。

このような中、ヤナセ労働組合は2年間一貫して「チームワーク」を活動方針の主軸にしてきました。何故ならば、この厳しい環境に打ち勝つためには、私たちの強みである“会社に対する誇り”と“仲間への思いやり”を最大限に活かした強固なチームが必要不可欠だからです。予断を許さない今年度も、前述した方針を踏襲し改善しながら、着実に前進し成長できる一年でありたいと思います。

そのためには、私たちの力を最大限発揮できるよう今まで以上に労働環境の整備が必要です。職場環境を充実させ、日常の働き方や業務を見直し、更なる効率と生産性を求めなければなりません。また、社内制度の整備や見直し、仕事や生活に関わる教育や啓蒙を繰り返しながら、私たちの働き方や働きがいも高めなければなりません。そして、組合活動の様々なアプローチから会社収益を高め、労働環境を含めた私たちの処遇を高めようではありませんか。

私たちが抱える課題を解決するには、多くの時間や労力が必要です。しかし、決してあきらめず誠実に方針を完遂する意欲とヤナセ労働組合の組織力と実行力をもってすれば、必ずや課題が解決され、方針が実現できると考えます。

「組織とは、夢を具現化する場所です」

組合員の夢を一つひとつ叶えられる組織であり続けるために、私たち自身と会社の成長が不可欠です。今年度も私たちの仕事がより楽しく、生活がより豊かに、将来をより明るくするために、迫り来るあらゆる課題に挑戦しつづけるヤナセ労働組合でありたいと考えます。

2011年度 重点目標【1】

処遇向上のため会社収益と職場環境を充実させます。

今年度も引き続き、私たちの処遇向上の起因は会社収益にあること、そして、会社収益の下支えは職場環境が充実していなければならないことを活動方針の最前列に位置付け、私たちの処遇向上に取り組みます。

収益向上に関しては、会社方針や計画の理解と周知、営業手法の開拓や改善、収益アイテムの創造に取り組みます。また、様々な経費削減に加え、日常の非効率な業務や慣習を見直し収益に繋がります。これらを実現するには、全国にまたがるヤナセグループのスケールメリットが最大の武器になります。地域や車種ごとの様々な成功事例を集約し、全国の仲間へ展開し、さらなる収益の拡大に繋がります。成功事例は収益拡大のための方策だけに留まらず、経費削減や業務の見直しも収益の一つと捉え、成功事例の集約・展開・実践までをサポートします。

前述した通り、収益の下支えは職場環境の充実です。職場環境に関しては、職場で発生した課題はその職場で解決すること、問題を問題として捉えていない職場を発見し改善すること、そして、問題発生を未然に防ぐことによって、職場環境を充実させます。

私たちが毎日出勤し働く職場は常に良好な状態でなければ、私たちは最大限の力を発揮することはできません。処遇と収益向上のため、引き続き職場環境の改善に取り組みます。

完遂のための具体的な活動



各委員会や研修会、情宣物を通じて会社方針や計画を周知します。方針や計画を把握することが、計画達成の第一歩です。



会社の取り組みを“5W2H”を用いながら、更なる理解浸透に取り組みます。取り組みの理由を知ることが、主体的な営業活動に繋がります。



各委員会や研修会、専門部会を通じて、地域や車種、職種ごとの成功事例を集約し、全国へ展開します。



職場のリーダーとして組合役員が職場パトロールを行い、施設面・衛生面双方の改善、課題発生の防止に取り組みます。



各委員会や研修会、日常活動のOJTを通じて、問題課題の発見能力と解決能力を向上します。



安全衛生委員会の更なる質の向上を目指し、職場環境の維持に取り組みます。



開催義務拠点の安全衛生委員会の定期開催並びに拡大安全衛生委員会の定期開催を目指し、職場環境の維持に取り組みます。

2011年度 重点目標【2】

あらゆる労働条件の改善に取り組みます。

続く不透明な市場環境は、私たちの生活に大きな影響を与えています。私たちの生計事情は厳しく不安定にあることを鑑みれば、第一に金銭処遇の向上に取り組まなければなりません。しかし、急激的に市況の回復が見込めない今は、生計のウエイトが大きい一時金や月次賃金などの金銭処遇に加え、私たちが働く上で関わる労働環境全てを処遇の対象とし、処遇向上に取り組まなければなりません。

今年度も本部・支部・分会の活動範囲を活かしながら、人間関係や施設面を含む職場環境の整備から各種制度の見直し、キャンペーンの実施提案や一時金や月次賃金に関わる処遇に至るまで、あらゆる労働条件の整備、向上に努めます。

完遂のための具体的な活動



労使協議会や労務委員会を通じた賃金と年間一時金の向上に取り組めます。



車種・地域ごとにセールスマンの目標関連協議に取り組めます。



販売員手当を中心とした各種制度の検証を継続し、改善に取り組めます。



グループ全体のAD職群導入を目指し継続協議します。



FM職群制度の運用状況を精査し、改善に取り組めます。



メカニックをはじめとするアフターセールス部門スタッフの技術力向上、自己啓発や一級整備士の資格取得のための環境整備に取り組めます。



各委員会や研修会、活動のOJTを通じて、問題課題の発見能力と解決能力を向上します。



組合役員が職場のリーダーとなり職場パトロールを行い、施設面・衛生面双方の改善に取り組めます。



安全衛生委員会の更なる質の向上を目指し、職場環境の維持に取り組めます。



組合員一人ひとりの個別課題を仕事・人間関係・プライベートなどの特性に応じて、組織的に解決をサポートします。



開催義務拠点の安全衛生委員会の定期開催並びに拡大安全衛生委員会の定期開催を目指します。

2011年度 重点目標【3】

更なるワークライフバランスの実現に取り組みます。

ヤナセ労働組合が求めるワークライフバランスは、積極的な仕事と豊かな生活を同軸上に捉えています。いわゆる、生活よりも仕事に偏重し「家庭や私生活はかえりみない」、あるいは仕事よりも生活に偏重し「仕事をしない」ということではありません。組合員にとって仕事と生活の両方が最良の状態にあることを求めています。

組合員の仕事力と生活力の向上を使命とする労働組合にとっては、「ワークライフバランス」とは組合活動における永遠の包括方針とも言えます。

漫然と従前の仕事のやり方を繰り返しては、効率的かつ有効的な仕事は望めません。一方、私生活においても勉強や趣味なくしては、豊かな生活を送ることはできません。仕事においても生活においても、満喫した時間を過ごし未来に繋がるよう、研修会やセミナーを通じて仕事や人生に役立つ教育活動、イベントや施設利用を通じた福利厚生活動に取り組みます。

また、心身ともに健やかな組合員であるために、日本社会や自動車業界たる社会規範の遵守活動やヤナセ労働組合ならではの社会貢献活動に取り組みます。

そして、その実現には組織基盤が安定していなければなりません。各種委員会や研修会などの活動スタンダードから予算決算の執行管理や資産運用などの財政活動に至るまで、組合員が安心でき、組合役員がしっかりと活動できる組織をつくります。

完遂のための具体的な活動

○ 組合員一人ひとりの個別課題を仕事・人間関係・プライベートなどの特性に応じて、組織的に解決をサポートします。

○ 資産運用に関する教育機会を提供し、組合員の生活力向上を目指します。

○ WAY通信を発行し、組合員の生活に密着した情報を提供し、生活力の向上を目指します。

○ 全国にある支部・分会のネットワークを生かし、そこで集約した情報を支部・分会活動に役立つように展開します。

○ リングプル収集を通じて、車イスを全国の社会福祉協議会へ寄贈します。

○ 普通救命資格取得を通じた社会への緊急対応に取り組みます。

○ 活動の透明性を高める支部会計スタンダードの質を高めます。

○ 組合資産の管理・運用は金融商品を十分に研究し、市況や経済情勢を鑑みながらリスクヘッジを含めた高効率運用を目指します。

○ ろうきんによる金融サービスや公的制度を全国の支部・分会に均質に情報提供します。

○ 福利厚生ニュースを発行し、本部管轄の福利厚生イベント、各地域で利用できる福利厚生施設やレジャー施設の利用率の向上を目指します。

○ 支部・分会の活動が滞りなく行えるよう、組合活動スタンダードの定着を図ります。

○ 組合員コミュニケーションを充実させるため、支部内の情報宣伝活動を強化します。

○ エコキャップ並びに外貨コイン収集を通じて、発展途上国へのワクチン支援を行います。

○ 規定や社会規範などの法令遵守を貫き、関係法規の理解と浸透、実践に取り組めます。

○ 予算の進捗管理と計画的な執行、並びにより高い精算処理を定着させます。